

2024年11月発行

茨木御堂  
第298号



真宗大谷派

**茨木別院**  
(輪番 河原 恵)

〒567-0817 茨木市別院町3-31  
TEL (072) 622-2903  
FAX (072) 625-9445

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

みんなに 願いが かけられている

運動会



南無阿弥陀仏

即ち是れ

正念なり

(『真宗聖典』 第二版一七四頁)

今月は、二十一日から二十八日まで、真宗本廟において御正忌報恩講が厳修されます。茨木別院でも、十四日から十六日まで、二〇二四年度の報恩講を勤めます。十一月二十八日は、宗祖親鸞聖人のお祥月命日です。この前後に報恩講が勤まります。また、ご門徒の皆様がご寺にお参りしてお念仏を称え、ご本尊である阿弥陀如来様と、親鸞聖人や七高僧様などの御恩に報じる大切な場でもあります。

言い換えれば、報恩講にお参りし、「阿弥陀如来様とはどのような方なのか」「お念仏を称えるとはどのようなことか」「私たちは、どのようにして救済されるのか」を問うことを通して私自身が、人生をどのように生きて行きたいと願っているのかを聞き開くことでもあります。

如来の本願は清浄願心であると説かれます。それは、一切苦悩の衆生を捨てずして心に常に常に作願すらく、回向を首として大悲心を成就することを得たまえるが故に、とのたまえり。(中略)往相は、己が功德を以て一切衆生に回施して、作願して共に阿弥陀如来の安楽浄土に往生せしめたまえるなり。

と表現されています。(『真宗聖典』第二版一八五頁)

苦悩の衆生とは、私たちのことです。自分の思いを通してしか人や物を見ることができず、差別と劣等感と迷いと疑いに振り回され、苦悩と悲しみを生きる者のことです。そういう私に、阿弥陀の清浄願心がお念仏としてはたらくのです。「正念」の言は、選択摂取の本願なり。又、第一希有の行なり。金剛不壊の心なり。(『真宗聖典』第二版五三八頁)と述べられています。この阿弥陀の本願と大行と大信が、念仏を聞くことによって私の信心になる。その信心が、この私をして生きる力になる。すなわち往生の道を生きるものになるということです。これが、本願念仏による救済であり、私の上に本願が成就したということです。

南無阿弥陀仏 輪番 河原恵

茨木別院関連ホームページ

真宗教団連合ホームページ

茨木別院 ➔ [ibarakibetsuin.or.jp](http://ibarakibetsuin.or.jp)

<http://www.shin.gr.jp/>

いばらき大谷学園 ➔ [ibarakibetsuin.or.jp/kids/](http://ibarakibetsuin.or.jp/kids/)

真宗教団連合

検索

茨木別院 月行事ご案内

● 教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

・日時 五日(火) 午後一時半より

・会場 別院会館

・講師 加藤 恵師

● おみがきのご奉仕

・日時 十一日(月) 午前十時より

・会場 別院本堂

● 報恩講

十一月  
・日時 十四日(木)～十五日(金)～十六日(土)

※詳細は四頁ご案内

● 親鸞聖人ご命日・婦人会例会

・日時 二十八日(木) 午後一時半より

・会場 別院会館

・講師 茨木別院輪番

※十一月十三日(水)～十六日(土)の月忌参りは、

報恩講準備等の為、お休みさせて頂きます。

十二月

● 教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

・日時 五日(木) 午後一時半より

・会場 別院会館

・講師 加藤 恵師

● 除夜の鐘・修正会

・日時 三十一日(火) 午後十一時半頃より引き続き

午前零時半より会館にて「修正会」のお勤め予定

※十二月の婦人会例会はお休みです

● 除夜の鐘

◇十二月三十一日(火) 午後十一時半頃より

今年の大晦日にも茨木別院にて除夜の鐘撞きが行われます。

除夜の鐘とは、十二月三十一日のことを除日といいその夜に鐘を撞くことから除夜の鐘といわれているようです。一般には一〇八回年越しに掛けて鐘を撞かれます。これは、煩惱の数が一〇八つということで一〇八回鐘を撞くことで煩惱を払うというような説もあるようです。

茨木別院では、たくさんの方に鐘を撞いてもらえればということで特に回数に制限を設けていませんので今年の大晦日は、茨木別院まで足を運んでいただき鐘を撞いていただければと思います。

また除夜の鐘が撞き終わった後、一年で初めのお勤めとなる修正会のお勤めを行います。除夜の鐘に続きたくさんの方にお参りしていただければと思います。

なお、一月一日の修正会は除夜の鐘が撞き終わり次第、別院会館にてお勤めを予定しています。こちらもぜひお参りいただければと思います。



# 園の子どもたちへ

いばらき大谷学園



こんにちは、いばらき大谷学園です。今年の夏はいつまでも残暑が続いており、運動会の練習は暑さとの戦いでした。毎日暑い中の練習だったので、お茶を何度もおかわりしながら一生懸命がんばる様子が見られました。

☆運動会…今年度は初めて茨木小学校の校庭をお借りしての運動会を行いました。運動会当日は曇り空でしたが、暑さは変わらず。そのような中でも子どもたちはベストを尽くしてやりきりました。中でも年長組のリレーは見ごたえたっぷりでした。抜いて抜かされのデットヒートとなり、悔しい思いをしたり勝ったことを喜んだり。様々な気持ちが見られる競技となりました。小学校での開催だったので小学生も多く見学しており、とても盛り上がりを感じます。卒園児に会うと大きくなっていくことに嬉しくなります。今回来られなかった子も、また園に遊びに来てくださいいね。お手伝いしていただいた保護者の皆様は朝早くからの準備、終了後の片付け、本当にありがとうございました。

☆秋の遠足(幼児組)…当日の朝まで天気が不安定で、どっちに行くのかな?とドキドキしましたが当日は雨が上がり、王子動物園に行きました。「ぞうさんいた!」「ホッキョクグマかっこよかったなあ」「おべんとうおいしかった」など、帰ってきて数日たつても話題に尽きない子どもたちです。

すっかり秋になりました。散歩や戸外遊びをじっくりしたり、制作活動や音楽会に向けての活動をしています。少し難しいことにもチャレンジして達成感を味わってもらえるようにしていきたいです。

保育主任 福井典子

## 思いやりの心で暖かい雰囲気作りを

保育教諭 内田 沙稀



新しいことにチャレンジすること、苦手なことに挑戦することは大人でも少し気が引けますよね。子ども達からすれば「上手にできるかな」「難しいことはできないよ」ともつと不安な気持ちを感じているかと思います。でも色々なことに挑戦して成功体験を積み、自信をつけて欲しい…。そこで、私が大事にしていることは『失敗しても大丈夫』という雰囲気づくりです。『失敗に対する優しさの雰囲気』をつくり出すことで、間違ってもいいのだと安心して失敗ができ、再び挑戦することができるようになると思っています。

そんな中でこのような出来事がありました。私がピアノで慣れない曲を弾く時に「先生間違っちゃうかもしれない。ごめんね。」と言うと『だいじょうぶだよ』『まちがってもいいんだよ』と子ども達が励ましてくれたのです。またある時には「だれがいちばんとれるかしょうぶね!」とカルタ遊びをしていた時に、一人のお友達がなかなか取れずに苦戦していると、いつの間にか「つきはとれる!」「そのちょうし!」と戦っていたにも関わらず、みんなでお友達を応援していたのです。

これらの思いやり励まし合い、明るい雰囲気にしようという子ども達の気持ちが見えたことがとても嬉しく、少しずつではありますが子どもたちの中にも「失敗に対する優しさを持つ心」が芽生えているのだと感じました。これからのクラス全体でそのような暖かさを持ち、何にでも挑戦できる環境を作っていきたいと思っています。

# 2024年度 茨木別院 報恩講 ご案内

11月14日[木] → 16日[土]

日	時間	報恩講日程	備考
14日 (木)	13:30 15:00頃	速夜のお勤め 法話 御伝鈔拝読	園児合同礼拝(10時00分)
15日 (金)	7:30 10:30	晨朝のお勤め 日中のお勤め 法話	
	13:30	結願速夜のお勤め 御俗姓拝読 法話	御参向: 藤原 忍 師 各別院輪番拝礼
16日 (土)	7:30	結願晨朝のお勤め	
	10:30	結願日中のお勤め 法話	御参向: 藤原 忍 師

## おみがき

日時 11月11日(月) 午前10時より

会場 茨木別院本堂

11月に茨木別院報恩講の法要が勤まります。法要にあたり、仏具の「おみがき」を行ないます。仏具を門徒のみなさんと一緒に綺麗に磨き上げて報恩講をお迎えしたいと思います。

たくさんの方のご参加お待ちしております。



# 報恩講法話

11月14日(木) [ 逮夜法話 ]

講師 なか やま りょう じゅん 中山量純師 ( 真宗大谷派解放運動推進本部  
本部委員 )

講題 「 願 生 道 」

「弥陀の五劫思惟の願をよくよく案ずれば、ひとえに親鸞一人がためなりけり」という、親鸞聖人の本願成就の感動が、『歎異抄』には著されています。親鸞聖人の立たれた願生浄土の仏道は、一人に帰る道であり、一人に願われる道です。この「一人」の自覚と、その自覚を呼び覚ます阿弥陀如来のご苦勞を憶念していくような、親鸞聖人の求道を、今を生きる者としてたずねたいと思います。

11月15日(金) [ 日中・結願逮夜法話 ]

講師 やま だ けい ぶん 山田恵文師 ( 三重教区三重組  
安正寺住職 )

講題 「 親 鸞 聖 人 の 法 然 観 」

親鸞聖人は師である法然上人をどのような方とみていたのでしょうか。『正信偈』や『高僧和讃』などから、法然上人を讃える親鸞聖人の言葉を確かめてみましょう。そして、聖人の法然上人に対する深い想いを尋ねてみたいと思います。

11月16日(土) [ 結願日中法話 ]

講師 ふじ わら さとる 藤原智師 ( 真宗大谷派  
教学研究所研究員 )

講題 「 弥 陀 の 名 号 と な え つ つ 」

親鸞聖人のご命日のおつとめである報恩講は、その名の通り「恩に報いる」、すなわち聖人が示して下さったお念仏の教えを聞き、それに応答するような生き方をしているのかを確かめる大事な場です。今回は、ある一人の聞法者がその生涯の最後にのこしていた言葉を紹介し、お念仏を称えて生きていくところに何が教えられてくるのか、皆さんと確かめてまいりたいと思います。

〈須弥壇納骨のご案内〉

本堂須弥壇(ご本尊)の下に納骨壇を設けております、たくさんの方に  
ご利用いただけるようご案内いたします。

・冥加金(茨木別院門徒・ご崇敬内門徒)

一体 七万円

・その他

一体 十万円

真宗大谷派に所属する寺院・僧侶・門徒に限らせていただきます。

\*納骨時の儀式執行は別院が執行します。

\*申込みについては、事前に別院事務所までお問い合わせ下さい。

・お問い合わせ先・茨木別院事務所

☎〇七二一六二二一・二九〇三

〈別院墓地合祀墓のご案内〉

別院墓地敷地内にて合祀墓を設けております。個別での納骨も可能となっております。

ご利用をお考えの方は一度ご見学下さい。

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、  
謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

● 法名 浄華院釋尼理深

俗名 関口キヨ 九十四歳

● 法名 釋尼妙尚

俗名 福田尚子 八十一歳

● 法名 佛願院釋良知

俗名 岩口良材 八十七歳

● 法名 釋勝願

俗名 中村勝美 七十七歳

編集後記

今年も茨木別院報恩講の時季となりました。今年の初めは、本堂・諸殿修復の関係で今年の報恩講は本堂で開催はできないものと考えていました。しかし、工事開始時期が来年の予定となったため例年通りの形で報恩講をお迎えすることが出来ました。今年には報恩講話にそれぞれの日程で別の講師の先生にお話しいただきます。ご門徒の皆さまにはぜひ一座でも多く聴聞しに参詣いただければと思います。

竹内明人

株式会社 花 廣

茨木市大手町二二一八

☎(〇七二)六二二一・二四〇二

— 生花・供花・けいこ花 —